

みずほCustomer Desk Report 2016/04/12 号(As of 2016/04/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	108.08 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.29	1.1405	123.47	0.9534	1.4122	0.7563
SYD-NY High	108.44	1.1447	123.70	0.9570	1.4287	0.7630
SYD-NY Low	107.63	1.1372	122.83	0.9503	1.4108	0.7528
NY 5:00 PM	107.95	1.1410	123.17	0.9546	1.4240	0.7596
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.015/12.465		△25RR	1.613	Yen Call Over	

NY DOW	17,556.41	▲ 20.55	債券市場	日本2年債	-0.2440	0.8bp
NASDAQ	4,833.40	▲ 17.29		日本10年債	-0.0860	▲1.1bp
S&P	2,041.99	▲ 5.61		米国2年債	0.6987	0.4bp
日経平均	15,751.13	▲ 70.39		米国5年債	1.1575	0.6bp
TOPIX	1,279.79	▲ 7.90		米国10年債	1.7254	0.9bp
シカゴ日経先物	15,755	▲70.00	為替市況	独10年債	0.1110	1.6bp
ロンドンFT	6,200.12	▲4.29		英10年債	1.3940	3.1bp
DAX	9,682.99	60.73		豪10年債	2.4090	0.5bp
ハンセン指数	20,440.81	70.41		USD/CNH	6.4691	▲ 0.0099
上海総合	3,033.96	49.00		ドルインデックス	94.01	▲0.22
USDJPY 3M Vol	11.58	▲0.13%	商品市況	CRB指数	171.825	0.78
USDJPY 6M Vol	11.11	0.03%		NY金	1,258.000	14.20
EURJPY 3M Vol	12.32	0.26%		WTI	40.360	0.64
EURJPY 6M Vol	11.86	0.20%		Dubai Spot	37.88	1.04

東京	先週末のドルの上値の重い流れを引き継ぎ、ドル円はシドニー時間に107.82まで下落。朝方発表された本邦2月機械受注は前年比-0.7%と予想(同-2.4%)されたほど悪化しなかったものの、市場の反応は限定的で東京時間のドル円は118.29レベルでオープン。安寄りした日経平均株価が前日比200円超安と下げ幅を拡大すると、ドル円は107.63まで連れ安となった。その後発表された中国3月CPI・PPIが強弱混在の結果となるとドル円は107円台後半を中心としたレンジ推移が継続。引けにかけては黒田日銀総裁から「必要な場合、『量・質・金利』の3つの次元で躊躇なく追加的金融緩和を講じる」との発言が報じられたものの、相場に明確な方向性が出ることはなく、107.77レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.77レベルでオープン。イタリア財務省と中銀、大手銀行が会合を開催し、不良債権を買い取る基金を設立する計画について協議するとの報道を受け、伊銀大手株が急伸するなどリスク回避ムードが緩むと、ドル円は108.34円まで上昇。その後、ルー米財務長官による「為替介入は受け入れられない」との発言を受け、小緩む場面もあったがその動きも限定的で、結局108.24レベルでNYに渡った。ユー・ドルは、1.1421レベルでオープン、ロンドン相場主導で荒い値動きとなる中、ユー・ポンドが急落すると、ユー・ドルも1.1372まで連れ安となった。その後も上値は重く、結局1.1392レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NYのドル円相場は108.24レベルでオープン。朝方、原油価格が再び40ドルに台に乗せる動きや、堅調な欧州株の動きからリスク選好的な円売りが優勢となり、クロス円も全般的に上昇する中、ドル円は108.44の高値をつけた。ただ、ドル円の戻り売り意欲は依然として根強く、ダウの伸び悩みにあわせて、再び108円割れまで反落して同レベルにてクローズした。本日も107円後半から108円前半でのレンジ取引を予想。明確なテーマが不在となっており市場は材料待ち。NY時間には米高官発言が予定されているがイエレン議長が慎重な姿勢を貫いていることから注目が弱まっている。原油の動きがボラタイルになっているため急激な反発によるドル円の買い戻しには注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:尾身・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月11日	08:50	日 機械受注(前月比/前年比)	2月 -9.2%/-0.7%	-12.0%/-2.4%
	10:30	豪 住宅ローン(前月比)	2月 1.5%	2.0%
	10:30	中 CPI/PPPI(前年比)	3月 2.3%/-4.3%	2.4%/-4.6%
	15:15	日 黒田・日銀総裁 挨拶	-	-
	22:25	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
4月12日	02:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

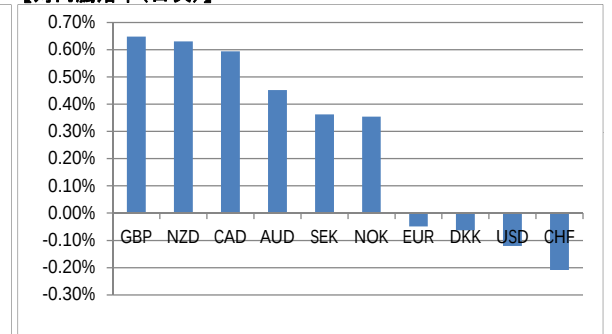
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月12日	15:00	日 工作機械受注(速報、前年比)	3月 -	-22.5%
	15:00	独 CPI(確報、前月比/前年比)	3月 0.8%/0.3%	0.8%/0.3%
	15:00	独 EU基準CPI(確報、前月比/前年比)	3月 0.8%/0.1%	0.8%/0.1%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.3%/0.4%	0.2%/0.3%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	3月 1.3%	1.2%
4月13日	21:30	米 輸入物価指数(前月比/前年比)	3月 1.0%/-4.8%	-0.3%/-6.1%
	22:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	03:00	米 月次財政収支	3月 -\$104.0B	-\$52.9B
	04:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	05:00	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.50	1.1350-1.1450	122.50-124.00

【マーケット・インプレッション】

昨夜のドル円相場は一時的にリスク基調が改善したことで堅調推移。欧州時間に金融株を中心に株価が上昇したことによりリスク回避傾向が弱まり、ドル円は高値108.44円まで回復した。しかし高値付近では戻り売り意欲が強く、ダウの伸び悩みにあわせてドル円は再び108円割れまで反落して同レベルにてクローズした。本日も107円後半から108円前半でのレンジ取引を予想。明確なテーマが不在となっており市場は材料待ち。NY時間には米高官発言が予定されているがイエレン議長が慎重な姿勢を貫いていることから注目が弱まっている。原油の動きがボラタイルになっているため急激な反発によるドル円の買い戻しには注意したい。